

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 隆夫
埼玉県草加市稲荷5丁目



試験名称	たて枠を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社栗山百造 所在地：新潟県三条市井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：枠材用クリホールダウンⅢ KHDⅢ-30・35 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ195mm，厚さ3.2mmの鋼板添え板に，コの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-2参照） 設置位置：水平方向；たて枠を介して，金物の心が柱心から12.5mmずれた位置 高さ方向；金物の下端が柱の下端から高さ120mmの位置</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリ鍋ビス7×90(S50)，8本使用 アンカーボルト：六角ボルトM16×260</p> <p>3. 使用軸組 柱：すぎ，105×105mm，たて枠：べいつが，45×60mm (注)接合金物の設置位置における柱とたて枠の接合方法は下記による。 N90を150mm間隔（ちどり）で平打ち</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年度版）[企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター]の6章「試験方法と評価方法」に従って行った。試験方法を図-3に示す。
試験結果	<p>短期基準引張耐力（Pot）：36.3kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-1 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成27年3月5日及び6日
担当者	構造グループ 統括リーダー 川上 修 統括リーダー代理 室星 啓和（主担当） 小山 博由
試験場所	中央試験所